

●公衆衛生に貢献した研究者を顕彰する「遠山椿吉賞」●
**日本での新型コロナウイルス感染症と
血栓症を調査するタスクフォース**
代表者：山下 侑吾（やました ゆうご）氏（38才）

「日本での新型コロナウイルス感染症と血栓症の実態を調査し
最適な予防の指針を検討する研究」
「遠山椿吉賞」「山田和江賞」をダブル授賞

一般財団法人東京顕微鏡院
医療法人社団こころとからだの元氣プラザ

今年創立132周年を迎えた一般財団法人東京顕微鏡院と同法人の保健医療部門をルーツとする医療法人社団こころとからだの元氣プラザは、公衆衛生に貢献する研究者の顕彰制度、「遠山椿吉記念 第8回健康予防医療賞」（副賞300万円）について、日本での新型コロナウイルス感染症と血栓症を調査するタスクフォース（代表：山下侑吾（やましたゆうご）/京都大学大学院医学研究科 循環器内科学）による「日本での新型コロナウイルス感染症と血栓症の実態を調査し最適な予防の指針を検討する研究」への授賞を決定しました。アンケート調査による海外と日本の異なる実態を示唆し、血栓症の個別の症例の詳細を明らかにしただけでなく、同研究からの知見は日本の関連学会による「新型コロナウイルス感染症における血栓症予防および抗凝固療法の診療指針」にて継続的にまとめられ、厚生労働省による診療の手引きにも引用されるなど、学術的のみならず社会的な意義は非常に大きく、公衆衛生と予防医療の実践という遠山椿吉賞のコンセプトに合致した研究として高く評価されました。

また、遠山椿吉賞応募者のうち、優秀な研究成果をあげており、これからの可能性が期待できる40歳以下の応募者（応募年の4月1日現在）に対し「遠山椿吉記念 第8回健康予防医療賞 山田和江賞」（副賞100万円）として顕彰しています。

「遠山椿吉記念 第8回健康予防医療賞」および「遠山椿吉記念 第8回健康予防医療賞 山田和江賞」は、選考委員会による厳正な審査にて授賞候補者を選出し、選考委員長同席のもと両法人合同の経営会議において慎重に議論を重ねた結果、同タスクフォースのダブル授賞といたしました。

授賞式・記念講演は、令和6年2月6日（火）、都内で開催予定です。

本年度の本賞の趣旨と重点課題：

本年度の本賞の趣旨は、病を早期に発見し、発見したものを治療へつなげるという予防医療の基本目標について、地道に社会への貢献を追求する研究者を顕彰する賞と位置づけました。

また、将来の予防医療のテーマに先見的に着手したものを重点課題としました。

*受賞者研究テーマの詳細はホームページをご覧ください。

<https://www.kenko-kenbi.or.jp/koueki/chinkichi-award/7751/>

お問い合わせ先：

一般財団法人東京顕微鏡院 公益事業室 担当 飯島、川崎

TEL:03-5210-6651 メール：koueki@kenko-kenbi.or.jp

ホームページ：<https://www.kenko-kenbi.or.jp/> <https://www.genkiplaza.or.jp/>